



# 和牛一筋50年

CLOSE UP  
大村人

「牛と向き合って50年。」「全国レベルの肉牛を飼育する畜産農家の北嶋さん。昨年、和牛のオリンピックと称される「全国和牛能力共進会」で特別賞を受賞されました。当初、育てていたミカンが、寒波の影響でだめになったことがきっかけで畜産の道へ。オイルシヨックの時は飼料も買えないほどの赤字を出し、口蹄疫やBSEの風評被害など、常に順風満帆とはいかなかったそうです。「自分はどん底から這い上がってきた。」と、逆境の中でも時代に合った方法を模索しながらやってきたことが、今でも生かされています。「自分は裏方の人間。自分1人の実績などはなく、周りの人あってこそ。」と周囲への感謝も忘れていません。北嶋さんは、「1頭の子牛が肉牛になるまで600日。毎日の管理や声かけなど、注いだ愛情が実を結ぶことがやりがい。」と語ります。1番の自慢はおいしさ。「おいしいものを食べて機嫌が悪くなる人はいない。みんなが幸せになる。それが生きがい。」と笑顔を見せます。長年、和牛と向き合ってきた北嶋さんだからこそ、畜産農家が減少する現実を憂えています。それでも「息子が意志を継いでくれる。」と将来への期待をにじませます。2月11日(日)祝に行われる大村藩宿場まつりでは、北嶋さんの和牛が販売されます。「大村の人こそまず、食べてみてほしい。食べてみるとわかん。食べてみたらわかる。」北嶋さんの大村と和牛に対する愛はまだまだ尽きません。



## Profile

きたじま・みつあき  
昭和17年3月25日生まれ  
県立大村園芸高校(現・大村城南高校)卒。畜産業を営み、「緑白綬有功賞」や「黄綬褒章」を受賞。大村市畜産部会会長にも従事。「全国和牛能力共進会」で特別賞「交雑脂肪の形状賞」を受賞。純長崎産であることが評価されている。大村市在住。75歳。

## 畜産農家

# 北嶋 光昭さん



## クローズアップ

# 大村人

vol.29

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人。を紹介していきます。